



停電が起きた時の「自立運転」使用法

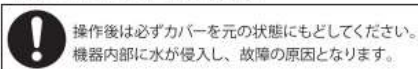
操作のお問い合わせは、デルタ電子フリーダイヤル
TEL0570-550-065 平日 9:00-17:00

自立運転を開始するには

本機能は、停電が発生した際に、お客様が操作する必要があります。
自立運転を毎日行う場合は、毎日「運転切替スイッチ」の再操作が必要です。
そのままでは出力しません。

1. 運転切替スイッチを「自立」にする。
自立ランプが点滅します。

※ 製品底面右側カバーのビス(2本)を外し、「運転切替スイッチ」の
「自立←停止→連系」を「自立」にする。

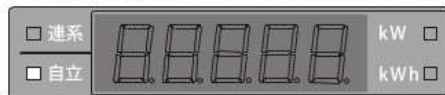


2. 表示部に「STAAL」が表示され、
カウントダウンを開始します。



000000 は自立運転開始までの時間(秒)を表します。
1秒ごとカウントダウンし、終了後運転を開始します。

3. 運転開始後、自立ランプが点灯します。



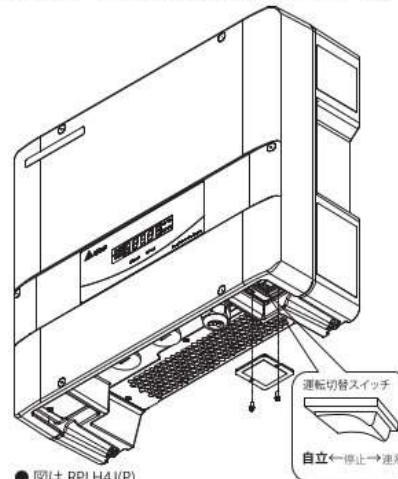
4. 自立運転コンセント[※]に電気製品の電源
プラグを差し込みます。



000000 は消費電力1.0kVAを表します。

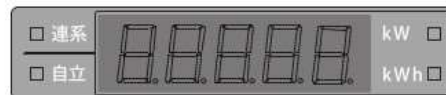
※ パワーコンディショナ底面右側カバー内専用コンセント及び自立運
転出力端子台に接続された屋内停電用コンセント(別途設置工事
を行った場合)

※ 設置の際に表示設定を屋外(Out)にした場合、表示部が約20分後
に消灯しますが、機能は働いています。



● 図は RPI H4J(P)

5. 日没後自動的に運転停止します。
表示部が消え、自立ランプが消灯します。



- 電気製品が接続されている場合、日没前もしくは日射が弱い時に
「SF48」が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転
切替スイッチ」の「自立←停止→連系」を「停止」にし、再度「自立」
にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そ
のままでは「W20」(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来
ません。

ご注意

- 太陽電池容量と日射条件により、使用できる電力が小さくなる場合
があります。
- 停電から復旧した場合、お早めに連系運転に切り替えてください。

! 接続する機器の電力の最大が1.5kVA以内(AC100V
最大15A以内)になるようにしてください。
接続する機器の電力が1.5kVAを超えた場合、または
日射が弱く発電電力が使用機器の消費電力を下回る場
合、表示部に「SF48」の点検コードが表示され、自立
ランプが点滅します。
自立切替スイッチを一旦に「停止」にし、接続する機器
を減らすか、日射が安定するまで待つて、再度「自立」
にしてください。

※スイッチの位置は機種によって異なります。RPI H6J(P)はカバーを外す時
にプラスドライバーが必要です。



停電解消後の「連系運転」への切替方法

操作のお問い合わせは、デルタ電子フリーダイヤル
TEL0570-550-065 平日 9:00-17:00

連系運転を開始するには

本装置は、自動運転をしますので、日常での操作は不要です。

1. 太陽光発電用ブレーカーを「ON」にする。

2. 運転切替スイッチを「連系」にする。^{*}
連系ランプが点滅し、カウントダウンを開始します。

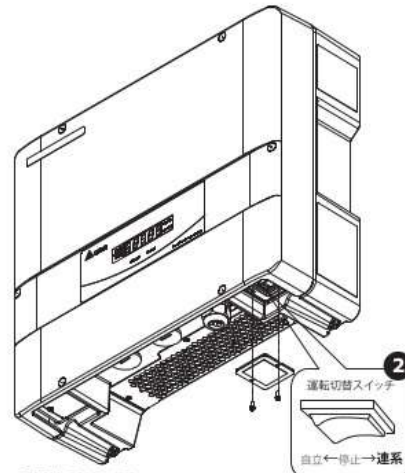
^{*}製品底面右側カバーのビス(2本)を外し、「運転切替スイッチ」の「自立←停止→連系」を「連系」にする。

! 操作後は必ずカバーを元の状態にもどしてください。
機器内部に水が侵入し、故障の原因となります。



00000 は

連系運転開始までの時間(秒)を表します。
1秒ごとカウントダウンし、終了後運転を開始します。



● 図は RPI H4J(P)



^{*}スイッチの位置は機種によって異なります

3. 運転開始後、発電電力を表示します。^{*}
連系ランプが点灯します。



00400 は発電電力4.0kWを表します。

^{*}設置の際に表示設定を屋外(Out)にした場合、表示部が約20分後に消灯しますが、機能は働いています。

ご注意 本体の電力量表示は、ある程度の誤差を含みます。(システムの容量、天候等によっても変化します)
発電の目安としてご活用ください。(本製品は計量法の対象ではありません)

- 電力系統が停電した場合、本装置は自動的に運転を停止します。電力系統が正常にもどれば自動的に運転を再開します。
- 夜間や日中晴れていても太陽電池モジュールに雪が積もっているときなど、太陽電池モジュールが発電しなくなると、パワーコンディショナは運転を自動的に停止します。(運転を停止すると表示部には何も表示しません。)
- 本装置は、自動運転をしますので、日常での操作は不要です。従って、通常は「直流側開閉器」及び「運転切替スイッチ」を操作する必要はありません。

※スイッチの位置は機種によって異なります。RPI H6J(P)はカバーを外す時にプラスドライバーが必要です。